



三木市記者発表資料（令和8年1月27日発表）			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総務部 市史編さん室	室長 清原久美子 (83-1120)	—	0794-83-1120

タイトル	
『新三木市史』文化遺産編発刊記念講演会 「蓮花寺の寺宝からひもとく三木市の文化財」を開催	
本件のポイント	
<ul style="list-style-type: none"> ・『新三木市史』文化遺産編の刊行を記念し、初めての発刊記念講演会を開催。 ・市史編さん委員会文化遺産部会長の内田俊秀氏による、蓮花寺を中心とした三木市の文化財の魅力と地元での活用について講演。 ・蓮花寺住職をお招きし、地域の「寺」としての役割や未来への思いについて対談する。 	
説明文	
<p>三木市と神戸大学との地域連携協定の一環として、平成26年から市史編さん事業に取り組んでおり、地域編は既に7冊、通史編は3冊を発刊しています。令和7年7月には、通史編の3冊目である『新三木市史第7巻 資料編 文化遺産』を発刊しました。その刊行を記念して、講演会を開催します。</p> <p>1 日 時 令和8年3月14日(土) 午後1時30分～3時30分</p> <p>2 場 所 口吉川公民館</p> <p>3 内 容</p> <p>(1) 市指定文化財の鬼踊りのほか、播磨出身の江戸時代後期の画家菅野繁谷による「松に孔雀図」屏風や市内最大の像である奥の院の十一面観音坐像など、文化遺産編で触れた蓮花寺の寺宝について紹介する。</p> <p>(2) 『新三木市史』文化遺産編では分野ごとの解説のほかに、他市にはない試みとして、「第5章 蓮花寺の文化遺産一人・もの・暮らし」の項目を設け、一つの場所において文化財がどのように有機的に繋がるかについて、蓮花寺を対象に分析を行った。その成果を踏まえて、文化財の活用や保存、地域との関わりについて講演を行う。</p> <p>(3) 蓮花寺住職をお迎えし、住職からみた地域の寺の思いを語っていただくとともに、対談を通じて、地域の文化財の在り方について示す。</p> <p>4 定 員 40名 先着順</p> <p>5 講 師 内田俊秀氏 (市史編さん委員会文化遺産部会長・京都芸術大学名誉教授) ・ゲストスピーカー 蓮花寺住職 密祐浩氏</p> <p>6 ホームページ https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/9/89368.html</p>	
	
本案件は次の SDGs 目標に関連します。	
<div> 4 質の高い教育を みんなに  </div>	